

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	レベルアップ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 4月 10日 ～ 2025年 5月 2日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	独自の通貨を使い疑似的に貯金や買い物することで、金銭感覚を身に付けてもらう。	一人ひとりに通貨の記録をさせる通帳を用意し、使った通貨と貯める通貨を管理してもらっている。その貯めた通貨を円に交換して、買い物に行ったり、おでかけのお土産など好きな物を買う体験学習をさせている。	イベントや買い物内容を事前に学習してもらい、いくら通貨が必要なのか。あと何日後にどのくらいの通貨を貯めればいいのかなど、計画性を身につけていく。
2	曜日別にポイントボトルを設置し、「みんなの為に働く」「いいこと」をする事でポイントを付与している。ポイントがたまると、おでかけやクッキングなどの計画を立て、イベントを実施している。	同じ目標への意識を持ち、達成感を仲間と共有することで、集団での役割意識を高めています。いいことポイントと同時に「ほめる」を意識し、いい行動が増えるように支援を行っている。	いいことポイントでは、他者のいいところを見つけて発表してもらい、他者理解の為に具体的に褒められるように支援していく。
3	体操や集団スポーツを通して、からだを動かすことの楽しさ、仲間意識の向上を目指している。	自己肯定感を高めながら挑戦する意欲を育てていきます。また、成功するまでの道筋と一緒に立てることで計画性の大切さを伝えている。	苦手意識のある運動（マット・鉄道・跳び箱・なわとび等）でも挑戦して、できるようになることの達成感を身につけられる活動内容を考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	公園などで地域のこどもと一緒に遊ぶ機会はあるが、放課後児童クラブや児童館との交流ができていない。	地域行事を事前に把握し、参加できるようにしていく。また、長期休暇や放課後を利用し、児童館への来館を考えていく。